

コスモス会

「SLやまぐち号」車内にて

○ 優雅さを残すSLたのしみつ

コスモス会にもわか貴婦人

けむりまくエスエルのりて泣き笑い

秋しぐれさえわたりたる五重の塔

SLに乗って楽しい小旅行

雨あがり乗って楽しい津和野路や

蒼き十代よみがえり煙に霞むSLの旅

エスエルにふる里しのび秋の旅

かしましき乗せて貴婦人おごそかに

津和野路のけむりに消える五重の塔

ほにほにの駅とおもえば仁保の駅

ぼおーと稲穂の中をSLは行く

○ コスモスの深きつながら旅みやげ

秋雨に煙むる聖堂愛の鐘

コスモスにびったりなのが明治風

優雅に遊んでムダがない

SLの車窓を見つ一つ一句詠む

SLの駅に止まるたび記念写真

○ びんずるをなでて老い知る秋の寺

笠雲に聳えて清し瑠璃光寺

アーメンのかわかぬうちに般若経

ザビエルの旅の重さに比ぶれば

私の試練の何と軽きか

エスエルで秋の野行くコスモス会

笑い声旅の静けさ打ち破る

あこがれのエスエルの旅夢心地

津和野路をぬくもり求めSLで

旅する乙女らしばし若やぐ

秋の旅SL楽し夢心地

SLの窓から見ゆる稲穂かな

SLや黄金の棚田まっしぐら

秋空に煙と汽笛ひびきけり

一、四〇〇円SLに

とつぶりつかりこりや安い

SLのヒメリンゴだ梨だと口かまし

○ 津和野路を走るSL窓あきて

舞い入る蝶もひとときの客

SLの同じ年と笑う顔

コスモスの根が張る夜長旅の宿

(旅行から帰ってからの追加一句)



SL車内での句会投句作品です。

俳句、短歌、川柳、また字数が合わないものもありますが、「何でもあり」がコスモスです。

なお、投票の結果は次の通りです。

○ 第一席 ○ 第二席 ○ 佳作

